

【甲賀市】
校務 DX 計画

1. 甲賀市の校務 DX 化の現状

本市は、令和 4 年度に全教職員に指導者用端末の配布が完了した。すべての教職員に、マイクロソフトアカウントを付与し配布している指導者用端末において、Teams や OneDrive を活用し、データの共有を図りペーパーレス化を図っている。

令和 5 年度には、教職員の業務負担を軽減するため、統合型校務支援システムのフルクラウド化を行った。併せて、ゼロトラスト環境の構築と PC1 台で校務系ネットワークおよび学習系ネットワークに接続できる環境構築を行い、教職員の働き方に柔軟に対応し、安全に利用できる環境を整備した。

また、令和 6 年度に欠席連絡や保護者への一斉通知など各種連絡物をデジタル化する連絡ツールを導入し、学校と保護者間の情報のやり取りにおいてもデジタル化を推し進めている。

以上の取り組みと合わせて、本市では市立小中学校 27 校に月に 3 回訪問を行う ICT 支援員を配置している。ICT 支援員が教材づくりなどの支援を行い、新しいシステムなどに対応する際に生じる業務の補助を行うことにより、教員の負担軽減を行っている。

2. 「GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリスト」の自己点検結果における課題

上記チェックリストにおいて、「職員会議等の資料をクラウド上で共有」や「教職員が作成した教材等をクラウド上で共有」など学校におけるクラウド活用は多く行われている。

しかし、FAX については教育ネットワークの不具合時など、緊急時の連絡方法として利用する場合を除いて、原則廃止するよう検討を行う。また、校務支援システムを活用し、指導要録、出勤簿等の公簿の電子化とともに、押印の原則廃止を検討していく。